

# 名古屋市議員 田山ひろゆき

## 市民税減税「7〜8%検討」

### 3期目河村市長、拡大に意欲

名古屋市長選で4連を果たし、28日に3期目を迎える河村たかし市長（88）は24日、日本経済新聞の取材に応じ、市民税の減税率を現行の「5%」から「7〜8%」に拡大することを検討する考えを示した。個人を対象で、法人の市民税減税を取りやめて財源にするとも選択肢とした。また市議会では少数派の状態が続いており、実現へのハードルは高そうだ。



インタビューを受ける名古屋市の河村市長（24日、名古屋市役所）

### 企業減税見直しも選択肢

- 河村市長の発言骨子
- ①市民税減税率の7〜8%への引き上げを検討  
法人市民税の減税をやめて個人の減税率引き上げも選択肢
  - ②名古屋駅西側で「人情屋台村」構想  
飲食店や芝居小屋などの屋台村を設置。民間投資を誘発
  - ③栄の広小路通などに屋台村  
コンビニなどと連携し、屋台を並べる。規制緩和も検討
  - ④名古屋版「夜スベ」  
子供の成績に応じ、民間塾の講師が小中学校で個別指導
  - ⑤「生保レディー」が保護者の相談員に  
保険外交員を自宅に派遣し、子育ての相談に乗る

市民税減税は名古屋の人々の減税をやめて代わらずに個人への減税を河村市長の看板施策。市長8%に拡大することも選んでも継続を許さず圧勝した。河村氏は取材で「減税を増やす努力がないわけではない」と表明。減税率は現在、個人・法人ともに一律5%で、市の上とより1.5%程度の市民税の減額は約11.8億円だった。河村氏は例えば全額、個人の減税に振り分けられる（リコール）市議



三階橋オープニングに参加しました。北区民にとって待ちに待った橋の完成です。当日は多くの皆さんが新しい橋を見学されました。3月25日



市民税減税の継続に賛成と答えた方が76%(マスコミ調査)に達したことは、8年間の減税政策が大いに評価されているということであり、非常にうれしく思いました。 田

北区サロン交流会にて(北区役所講堂)高齢者が気軽に参加できるサロンが各学区で盛んに開催されるようになりました。今後の課題も多く、情報交換の場となりました。



黒川交差点南東エリアの清掃活動に参加しました。タバコの吸殻の多さにあらためて驚きました。(東志賀学区連絡協議会の皆さん方と) 2月18日



北区なごやかウォーク名城公園に参加しました。こういった機会を通じて皆様方からの行政に対するご要望をお聞きしております。3月18日

クリック  
田山ひろゆき  
検索

### 田山ひろゆき 経歴

- |                          |                                  |
|--------------------------|----------------------------------|
| 昭和33年 三重県伊賀市生まれ          | 平成23年3月 名古屋市議員初当選(北区)            |
| 昭和58年 名古屋工業大学卒業          | 平成23年 幹事長、議会運営委員会委員長             |
| 昭和58年 (株)リクルート入社、名古屋支社配属 | 平成24年 副議長(第95代)                  |
| 昭和63年 課長昇進(29歳)          | 平成26年 幹事長                        |
| 平成5年 「年間最優秀経営者賞」         | 平成27年 名古屋市議員再選(2期目) 現在幹事長、党政策委員長 |